

1387

海軍少将調査部長殿

二水戦機密第二三號、三

四月八日送付

自昭和十八年三月一日
至昭和十八年三月三十一日



第二水雷戦隊戦時日誌

第二水雷戦隊司令部

5



一	二	三	四	
經過概要	人員現狀	作戰經過	令達報告	
目次				

(目次終)

第一 經過概要

一 一般

前進部隊ニ屬シ

(イ) 司令部 神通 大波 (戸3/dg) (五日以後) 清波 (八日以後) 海風

(八日以後) 陽炎 (戸15dg) (二十一日以後) ハトラック 方面ニ

在リテ警戒待機訓練並ニ整備ニ從事シ一部ヲ以テ

主要艦船護衛ニ任ズ

(ロ) 巻波 (二日以後) 長波 (七日迄) 江風 (自六日至二十日) ハ

トラックニ在リテ修理ニ從事

(ハ) 右以外ノ各隊 (艦) ハ在籍軍港ニ歸投修理ニ從事

二軍隊區分

聯隊番號		隊番號		○	神通	隊(艦)名	艦		船	番	號
二	一	二	一				第一	第二			
第三十一驅逐隊	第三十四驅逐隊	第三十五驅逐隊	第三十六驅逐隊	第三十七驅逐隊	第三十八驅逐隊	第三十九驅逐隊	第一	第二	第三	第四	第五
大波	海風	陽炎	涼風	黑潮	親潮	長波	第一	第二	第三	第四	第五
(1) 大波	(1) 海風	(1) 陽炎	(1) 涼風	(1) 黑潮	(1) 親潮	(1) 長波	第一	第二	第三	第四	第五
(2) 清波	(2) 涼風	(2) 黑潮	(2) 親潮	(2) 長波	(2) 第一	(2) 第二	第一	第二	第三	第四	第五
(3) 卷波	(3) 江風	(3) 親潮	(3) 第一	(3) 第二	(3) 第三	(3) 第四	第一	第二	第三	第四	第五
(4) 長波	(4) 第一	(4) 第二	(4) 第三	(4) 第四	(4) 第五	(4) 第六	第一	第二	第三	第四	第五

三
護
衛

期 間	使 用 兵 力	被 護 衛 艦 船	行 動
二月二六日 三月五日	大波(戸 31dg)	沖鷹	横須賀——ト ラック
二月二六日 三月八日	海風(戸 24dg)清波	盤谷丸、西貢丸	横須賀——ト ラック
三月一五日 三月一八日	長波	南海丸	ト ラック——内海西部
三月一七日 三月二二日	31dg(大波清波)	盤谷丸、西貢丸	ト ラック——タ ラフ
三月二〇日 三月二七日	大波(戸 31dg)	盤谷丸、西貢丸	タ ラフ——サイ パン
三月二二日 三月二五日	清波	天城山丸	ク エゼリ——ト ラック
三月二一日 三月二七日	江風	香取、日枝丸、筑紫	ト ラック——横 須賀

三月二三日 三月二四日	海風 (B 24dg)	日紫丸	礁外ニ〇埋—トラック
三月二六日 三月二七日	清波	靖國丸	礁外ニ〇埋—トラック
三月二八日 三月二九日	陽炎 (B 15dg)	2sf (軍艦鳥飛雁鳥) 8S (利根筑摩)	佐伯—トラック

行動要覽（斜線部航海中）

一司令部

第二人員現狀

職員官氏名

司令官	職	主務官	氏名	記事
戰隊機関長			(缺員中)	
參謀	首席中佐		遠山安巳	十四日迄
砲術少佐			(三反田三郎)	十五日以後
通信同			井澤豊	
機関大尉			山本唯志	
司令部附			山田亘	
			大成定雄	

二、麾下總員數

種別	士官	特	下士官	兵	其他	計
員數	一二四	八五	九一五	一九三四	五	三〇六三

(四) 下士官兵其他ノ員數

兵種	兵科	工作科	主計科	傭人	計
員數	二〇	二	七	一	三〇

三	二	一	日
ノ	ツ	ヲ	ト
C $90^{\circ} 5 \frac{m}{s}$ $28.6^{\circ}C$ 28K	bC $45^{\circ} 3 \frac{m}{s}$ $29.0^{\circ}C$ 32K	bC $135^{\circ} 5 \frac{m}{s}$ $29.7^{\circ}C$ 30K	午前 十時 視氣風天 界温風候 日(料)風速 没時
C $70^{\circ} 4 \frac{m}{s}$ $28.0^{\circ}C$ 15K	bC $50^{\circ} 4 \frac{m}{s}$ $28.3^{\circ}C$ 14K	bC $130^{\circ} 5 \frac{m}{s}$ $28.0^{\circ}C$ 15K	
隊艦二第隊艦合聯 隊部進前			一般任務 任特務別
	一三〇〇巻波トラク「着修理ニ從事 二五〇江風トラク「ニ向ケ「ラバウル」發		主 要 行 動 作 業
			記事

第三作戰經過

4681

七	六	五	四
---	---	---	---

ク

ツ

ラ

ト

b $180^{\circ} 3' S$ $30.6^{\circ} C$ $40K$	bc $130^{\circ} 6' S$ $29.7^{\circ} C$ $35K$	bc $130^{\circ} 4' S$ $29.8^{\circ} C$ $35K$	C $115^{\circ} 4' S$ $30.5^{\circ} C$ $25K$
b $120^{\circ} 1' S$ $31.8^{\circ} C$ $17K$	C $135^{\circ} 4' S$ $29.0^{\circ} C$ $10K$	bc $180^{\circ} 3' S$ $29.8^{\circ} C$ $18K$	θ $175^{\circ} 6' S$ $27.0^{\circ} C$ $13K$

隊戦雷水二第

	一〇〇〇江風トラック着 修理ニ従事	一〇七〇〇大浪(戸3/dg)トラック着 (横須賀ヨリ冲鷹島護衛)	

1398

八			
一九五	(内 中	礁 海	環) 航
b $0^{\circ} 3' 15''$ $29.8^{\circ}C$ $40K$			
b $10^{\circ} 4' 15''$ $29.1^{\circ}C$ $20K$			

一〇七〇〇長波南海丸ヲ護衛シ (内海西部迄)舞鶴ニ向ケ トラック發 三永戰(神通)環礁内出勤訓 練一〇〇出港一九一五入港 主砲夜間射撃一門常四 機銃對空射撃一銃一五 發射一本(第四魚雷調整班調 製モノ) 三六〇海風(巨猛)清波トラク 着(横須加貝ヨリ盤谷丸西貢 丸護衛

6691

三	二	一	九
---	---	---	---

グ

ッ

ラ

ト

bc $135^{\circ} 4\frac{m}{s}$ $29.0^{\circ}C$ $35K$	Qr $135^{\circ} 4\frac{m}{s}$ $26.8^{\circ}C$ $17K$	C $45^{\circ} 9\frac{m}{s}$ $29.7^{\circ}C$ $35K$	bc $40^{\circ} 6\frac{m}{s}$ $30.0^{\circ}C$ $38K$
Q $45^{\circ} 5\frac{m}{s}$ $28.5^{\circ}C$ $17K$	Q $90^{\circ} 2\frac{m}{s}$ $28.0^{\circ}C$ $13K$	C $90^{\circ} 10\frac{m}{s}$ $29.5^{\circ}C$ $14K$	bc $45^{\circ} 5\frac{m}{s}$ $28.0^{\circ}C$ $17K$

一〇五〇 31dg (天波清波) 盤谷丸 西貢丸 (佐鎮七特乗船) タラワニ 向ケト ラック 殺			

1400

一六	一五	一四	一三
----	----	----	----

ク

シ

ヲ

ト

C^m $80^\circ 7' S$ $28.9^\circ C$ $25K$	C^m $45^\circ 10' S$ $28.6^\circ C$ $30K$	b^m $90^\circ 6' S$ $29.4^\circ C$ $45K$	C^m $90^\circ 9' S$ $28.5^\circ C$ $25K$
bC^m $90^\circ 6' S$ $28.8^\circ C$ $15K$	$O.Y^m$ $90^\circ 6' S$ $27.5^\circ C$ $5K$	bC^m $65^\circ 3' S$ $28.5^\circ C$ $20K$	C^m $70^\circ 10' S$ $29.0^\circ C$ $15K$

			一海風(巨24dg)環礁内出勤訓練 二〇〇出港一五〇〇入港 主砲晝間射撃一門常三 機銃對空射撃一銃一五

1401

二 〇	一 九	一 八	一 七
ヲ	ツ	ラ	ト

θ $50^{\circ} 10'/S$ $26.5^{\circ}C$ $22K$	θ $45^{\circ} 9'/S$ $27.6^{\circ}C$ $23K$	θ $30^{\circ} 7'/S$ $28.5^{\circ}C$ $20K$	θ $50^{\circ} 7'/S$ $29.6^{\circ}C$ $20K$
θ $130^{\circ} 12'/S$ $27.0^{\circ}C$ $12K$	θ $90^{\circ} 12'/S$ $26.7^{\circ}C$ $15K$	bC $50^{\circ} 10'/S$ $28.7^{\circ}C$ $18K$	θ $180^{\circ} 3'/S$ $27.0^{\circ}C$ $10K$

一〇九三〇長波舞鶴着 二二三〇3/dg(大波清波)盤谷丸 西貢丸タラワ着			一〇六〇3/dg(大波清波)盤谷丸西貢 丸タラワ着 ニトラク在泊艦對敵機動部隊 空襲警戒、爲日出時ヨリ

1402

ニ 三	ニ 三	ニ 二	
--------	--------	--------	--

ク ツ ラ ト

θ $50^{\circ} 11' S$ $28.7^{\circ} C$ $23 K$	θ $50^{\circ} 11' S$ $29.0^{\circ} C$ $33 K$	C $90^{\circ} 10' S$ $27.7^{\circ} C$ $25 K$	
θ $65^{\circ} 8' S$ $27.3^{\circ} C$ $13 K$	θ $80^{\circ} 10' S$ $29.3^{\circ} C$ $20 K$	C $80^{\circ} 9' S$ $28.5^{\circ} C$ $16 K$	

一〇七〇 海風 (B 44dg) トラック 發 八〇〇 天城山丸ヲ護衛シ同發 二〇五三 清波クモセリン着 (陽炎) トラックニ向ケ佐伯發 二二〇〇 25f 8S 61dg (涼月) タ暮 15dg 一八三〇 15dg (陽炎) 吳發 一八三〇 佐伯着	一〇七〇 香取 (巨匠) 日枝丸 筑紫 江風 横須賀ニ向ケトラック 發 二〇八三 15dg (陽炎) 吳發 一八三〇 佐伯着	一時間第一配備トナス (GP 信令第四一三號)	
---	---	----------------------------	--

1403

二六		二五	二四
(内 中	礁 海	環) 航	〇 セ 二 五
bC $90^{\circ} 9 \frac{m}{s}$ $28.7^{\circ}C$ 37K		C $90^{\circ} 9 \frac{m}{s}$ $29.2^{\circ}C$ 30K	Q $135^{\circ} 5 \frac{m}{s}$ $27.2^{\circ}C$ 28K
bC $45^{\circ} 6 \frac{m}{s}$ $28.8^{\circ}C$ 18K		C $85^{\circ} 6 \frac{m}{s}$ $29.0^{\circ}C$ 15K	QY $175^{\circ} 15 \frac{m}{s}$ $27.5^{\circ}C$ 4K

一五三〇海風トラック着 (環礁外約二〇〇哩ヨリ日榮丸 護衛)		一〇九〇清波トラック着 (天城山丸護衛)
一三四五清波トラック着 二五(神通海風)環礁内出動訓練 (〇七五出港二〇〇入港) 對空射撃 神通機銃第一期發彈全部 海風主砲一門時常三 機銃一銃一五		

1404

ニ セ	
ク ツ ラ ト	二 〇 〇 〇
C. m 90° 7/5 27.8°C 28 K	
b m 80° 10/5 27.3°C 18 K	

夜間射撃 神通主砲一艦照五常八 海風主砲一艦常二三 靜的發射 神通海風各二本 一〇八三〇清波トラク^レ着 (環礁外約一二〇里ヨリ靖國丸 護衛) 二二〇〇大波(戸^{3/4}dg)盤谷丸西貢 丸サイパン^レ着 三一五〇〇大波(戸^{3/4}dg)サイパン^レ發 四二二〇〇香取筑紫江風日枝丸 横須賀^レ着	
--	--

1405

三	三	二	一
一	〇	九	八
	ラ		ト
C ^m 90° 4 1/5 29.1°C 30K	C ^m 120° 14 1/5 26.0°C 10K	C ^m 80° 6 1/5 28.5°C 25K	C ^m 90° 12 1/5 29.5°C 25K
bC ^m 85° 4 1/5 29.0°C 15K	C ^m 90° 10 1/5 27.4°C 12K	C ^m 90° 3 1/5 29.0°C 13K	bC ^m 95° 10 1/5 28.7°C 16K

一四〇陽炎(正15dg)トラック着	一〇三〇大波(正3/dg)トラック着	一トトラックニ於ケル警戒ヲ左通 改メラル 主隊前進部隊機動部隊 〇四三〇ヨリ〇五三〇迄第二配備	
-------------------	--------------------	--	--

1406

別紙電報通
第四令達報告

右以外、時間第三配備 (GK信令第四三號) 二〇〇親潮黒潮横須賀高ケ 内海西部發

1407

發 元 日 時	受 日 時 (宛通報)	令 達 報 告 等	別 種
GF司令長官	三月三日一八一三 ZF各司令長官 大臣總長 4F 8F 横吳舞 鎮各司令長官	GF電令作第四九五號 Add KdB各指揮官ハ長波決風ヲシテ内地 (所屬軍港)ニ回航修理ヲ實施セシムベシ 回航際決風ハ滿潮ヲ横須賀ニ曳航 舞風之ヲ護衛長波ハ南海丸ヲ内海西 部迄護衛ノコトニ取計スベシ	無
Add指揮官	五日一三五〇 Zsd司令官 長波驅艦長 3ldg司令	Add電令作第一五八號 長波ハ準備出來次第トラック發舞鶴ニ 回航修理ニ從事スベシ 本回航途次内海西部迄南海丸ヲ護衛	電

	参謀長
總長大臣 舞鶴鎮4F 各司令長官 南海丸	六日一三三。 舞鶴工廠長 GF舞鶴各参謀長 ZSD司令官31dg司令 長波驅艦長 艦政本部長 軍務局長 大海二部長
スベシ	石機密第。五。二。四番電関聯 長波ハ三月十六日頃舞鶴着、豫定 當方面戦況ニ鑑ミ急速入渠整備ニ関シ 特ニ配慮ヲ得度 尚右期間ニ於テ左記實施相成度 一、右舷主送水ポンプ裝備長波ノモノ大波ニ 移裝シアリ貴廠ニテ修理中、大波ノモノヲ 本艦ニ充當差支ナシ 二、右張出「リクナハイター」嵌輪換裝

GF司令長官	GF参謀長	
9日一九〇三 48NIF司令長官 佐鎮七特陸司令	8日一九一六 GF参謀長 25d司令官 24dg司令 軍務局長 江風驅艦長 大海二部長 佐鎮参謀長	
GF電令作第四九九號 一佐鎮七特陸ヲ南東方面部隊ヨリ除キ 内南洋部隊ニ編入ス	江風ハ三月二十日頃佐古保着 損傷復旧 工事ニ當ラシメラルル予定ノ所成ルベク速ニ 整備完了ヲ得度 左記ハ新品換装ノ要アルニ付豫メ準備 相成度 豫備ターボイ發動機ニ基豫備推進器 一個(應急修理シアリ)但シ推進器ボスハ 本艦持参	三艦橋前一三耗機銃裝備 四二式距離苗頭盤裝備

ADB 指揮官	
ADB 指揮官 十日二四。 Zsd 司令官 NTH GF 8F 3F 3KF 各 司令官 總長 ZKEg 司令官 盤谷丸 西貢丸	總長
ADB 電令作第二六。號 Zsd 司令官ハ麾下驅逐艦二隻ヲ派遣 GF 電令作第四九九號ハ任務ニ從事セシムベシ	二内南洋部隊指揮官ハ佐鎮七特陸ヲ 以テギルバト方面防備ヲ強化スベシ 三盤谷丸 西貢丸ハ佐鎮七特陸輸送ニ 關シ長官ノ指揮ヲ受クベシ 四ADB 指揮官ハ驅逐艦二隻ヲシテ内南洋 部隊指揮官ノ指揮ヲ受ケ右輸送ノ 護衛ニ任セシムベシ

4H司令長官	4H司令長官
4H各B司令官 大波清波各艦艦長	十日一九二九 4H各B司令官 佐鎮七特陸 盤谷丸大波清波 4H各B司令官 總長司令官 佐鎮司令官 4H司令官
内南洋部隊電令作第二五四號 内南洋部隊電令作第二五四號 内南洋部隊電令作第二五四號 通改	内南洋部隊電令作第二五四號 一佐鎮七特陸ハ三月一二日、トラク發（盤谷丸） 西貢丸三乗船、トラクニ進出スベシ 二偵察機、トラク着以後第三特根司令官 ノ指揮下ニ入ルベシ 三第三特根司令官ハ佐鎮七特陸ヲ以テ トラクノ防備ヲ強化スベシ 四大波清波ハ先任艦長指揮、下ニ盤谷 丸、西貢丸ヲトラクヘ護送スベシ 其後ノ行動ニ関シテハ後令ス

ADB 指揮官	
十四日一〇。一〇。 Zsd司令官 15dg 27dg 各司令 夕暮陽炎各駆 艦長 横兵佐鎮 GF 各司令長官 Zsf司令官 總長 KdB	盤谷西貢丸各艦長 佐鎮七特陸司令 GF 2F 各司令長官 次長 Zsd司令官
ADB 電令作第一六三號 一 Adb 電令作第一六二號ヲ取消ス 二 15dg (陽炎) 及夕暮 (便宜佐岳保ニ回航) GF 信電令作第一三三號所定ノ任務ニ 從事スベシ	四 31dg 司令ハ大波 清波 盤谷丸ヲ指揮 佐七特ヲ「タラワ」ニ護送スベシ其後ノ 行動ニ関シテハ後令ス

15dg 司令	4dB 指揮官
十六日一八五〇 2sd 司令官 2F 司令長官 GF 3F 呉鎮各司令官 3S 2sf 各司令官	十百一五七 2sd 司令官 24dg 司令江風 GF 4F 横佐鎮 各司令長官 日枝丸總長 2kg 司令官筑紫 艦本總務部長
當隊行動豫定左、通 一陽炎三月二十日一〇〇〇呉發各種試運轉 施行、上二十日午前佐伯ニテ2sfニ合同予定 三黒潮左舷高压タービン換裝作業(舞鶴 不知火、モ、)豫定通完成セバ二十五日以後	4dB 電令作第一六四號 江風ハ二十一日頃トラック發佐古保ニ回航 修理ニ從事スベシ 右回航、途次横須賀迄先遣部隊指揮官 指揮ヲ受ケ香取及日枝丸、警戒ニ 任スベシ

	254 司令官
出撃可能 三親潮三月二十日出渠豫定ノ所同船渠ニ在ルタ霧務修理延期ノ爲ニ十六日出渠ニ改メラレニ十九日以後出撃可能	十九日〇〇二五 陽炎夕暮初月 涼月各驅艦長 85 254 3F 吳鎮各司令長官 佐伯司令 吳軍需部長 吳防戰司令官 一トラスク回航部隊ハ左ノ日時迄ニ佐伯灣ニ集合スベシ (イ) 254 二十日午後 (ロ) 85 二十日午前 (ハ) 驅逐隊 二十日午前 ニ二十日一五ヨリ軍艦ニ於テ回航打合ヲ行フ艦長司令關係幕僚驅逐艦長航海長參集スベシ 三佐伯錨地ハ後令ス二十日ハ〇〇以後各隊

AdB 指揮官	長波艦長	
十八日二二五一 Zsd司令官 3ldg司令 GFNTF 4F各司令官 ZKEg 6Bg 5Bg 3Bg各司令官	十八日一八四九 GF各参謀長 Zsd司令官 3ldg司令 大海一部長 舞鎮参謀長 舞廠總務部長	
AdB電令作第一六五號 3ldg(巻波長波缺)ハ盤谷丸西貢丸ヲ揚塔 終了トラックニ回航中トラック近海迄護衛 ニ任ジタル後トラックニ歸投スベシ	三月十九日入渠四月十七日出渠訓令諸工 事全部實施四月二十日諸公試二十一日 出撃可能、見込	(艦)ハ(○)ニ配員準備ト直接連絡スベ シ 四十二日一二〇〇佐伯發出撃予、豫定

3/dg 司令	Add 指揮官	
十九日二〇五九 GF 24 各司令長官 Zsd 2kg 各司令官 5Bg 6Bg 各司令官	十九日二三五 Zsd 司令官 3/dg 司令 GF 24 各司令長官 總長 天城山丸 2kg 6Bg 各司令官	總長
一、Add 電令作第一六五號ニ依ル、クエゼリン派遣 驅逐艦ヲ清波ニ指定ス 二、大波、清波、盤谷丸、西貢丸行動豫定 二十日〇六〇トラヲ發二十三朝清波	Add 電令作第八六號 3/dg 司令ハ、クエゼリン分派ノ驅逐艦ヲシテ Add 電令作第一六五號ニヨル任務ノ外ニ二十日 クエゼリン發トラヲ一回航豫定ノ天城山丸 護衛ニ任セシムベシ	3/dg 司令ハ右護衛驅逐艦中ノ一隻ヲ途中 適宜クエゼリンニ派シテ電令作第五四號ニ ヨル常盤東組掌機雷兵ノ輸送ニ任セシム ベシ
〃	〃	〃

	GF司令長官	GF司令長官
	GF 十九日一八五。	二十日二二八 GF司令長官 大鷹島艦長 横鎮司令長官 總長 Zsd司令官 15dg司令 冲鷹島艦長
クエリシ着二十五日〇七。〇 11³⁰N 155°E 附近ニテ 護衛ヲ止メ二十六日早朝大波トラック着 二十七日一二。〇 盤谷丸西貢丸サイパン着	GF信令第四三號 當分、間日出時ヨリ一時間第一配備 便宜訓練ヲ行フ事ヲ得トナセ	GF電令作第五二號 一大鷹島艦長ハ冲鷹島連響ヲ併セテ指揮シ 大海機密第三七四番電第二項ノ輸送ヲ 實施スベシ 二AdB指揮官ハ黑潮親潮ヲシテ大鷹島艦長ノ 指揮ヲ受ケトラック迄前項輸送ノ護衛 ニ從事セシムベシ
	信	無

1418

大海参一部長	AdB 指揮官	二十日一六五	Zsd 司令官
二十日二〇五	連黒潮親潮 各艦長	二十日一五一	Zsd 司令官 GF 3F 4F 各司令官 Zkg 司令官 日榮丸
左、諸情報ヲ綜合スレバ敵機動部隊	AdB 電令作第一六七號 Zsd 司令官ハ麾下驅逐艦一隻ヲ派遣シ二十四日 七〇。トック着豫定、日榮丸ヲ環礁外ニ〇。埋 附近ヨリ護衛ニ任セシムベシ 日榮丸正午位置二十三日五〇N 二十四日七二〇N 151°E 146°40'E	Zsd 電令作第一號 AdB 電令作第一六七號ノ驅逐艦ヲ海風ニ 指定ス	
	電		

各戸各鎮各警中部太平洋方面ニ策動ノ算アリ茲數日
各參謀長明「マーシャル諸島大島島南島島及

本州東方海域警戒ヲ要スルモノト認メラル

一「ソモン」方面敵空母二月未以未出現セズ

二「ソモン」監視艇一隻敵潜水艦ノ攻撃ヲ

受ク（概位N 32°50' E 152°）

三我が艦艇諜報

（一）二日及三日「ハワイ」諸島及「ミッドウエー」

哨戒機數増加

一五日及一六日モ「ミッドウエー」哨戒機數

稍多シ

一三日一六日及一八日本邦近海敵潜水艦ノ

通信稍多シ

大鷹艦長 大鷹艦長	4dB 指揮官 三二日。八四一
三二日二三三九 沖鷹艦長 連響親潮 黒潮各艦長 GF 2F 呉鎮横鎮	黒潮親潮各艦長 2Sd 司令官 5dg 司令 GF 4F 横鎮 呉鎮 各司令長官 大鷹艦長
一大鷹 沖鷹 響連 黒潮親潮ヲ率キ 四月三日トラックニ向ケ横須賀發ノ予定 二黒潮親潮ハ出撃手準備完成ノ後燃料 満載四月一日迄ニ横須賀ニ回航スベシ	4dB 電令作第 二六八 號 四六日敵平文通信ニ依レバ「ハワイ」諸島 方面ニ空母所在セル疑アリ 黒潮親潮ハ整備完了後機宜横須賀ニ 回航GF電令作第 五一 號所定ノ任務ニ 從事スベシ

1258

3/dg 司令	AdB 指揮官	
26日二四五 Zsd司令官 G4F各司令官 ZKeg司令官	二十三日二五四 Zsd司令官 3/dg司令 西貢丸 盤谷丸 各艦長 總長 五特根 ZKeg司令官 G4F各司令官	各參謀長 Zsd司令官 15dg司令
大波 盤谷丸 西貢丸 サイパン 着	AdB 電令 作第 一七〇 號 3/dg (大波) ハ 引續 盤谷丸 西貢丸 ラ サイパン 迄 護衛 シタル 後 ト ラック ニ 歸 投 ス ベシ	

1422

2F 参謀長	2Sd 司令官 辛酉二五〇	4dB 指揮官
2Sd 司令官 二十九日二三五五 卷波駆艦長 軍務局長	2KEg 司令官 靖國丸 2Sd 司令官 4F 3F 司令官長官	2Sd 司令官 辛酉一三一〇 靖國丸 4F 3F 司令官長官
卷波八四月下旬修理、爲舞鶴着、予定 一二號罐、大破、主管全部並一號罐、右舷水 トラム及前(同)正右舷後部、蒸氣過 熱器、トラム破損、使用不可能ナルモ	2Sd 電令作第二號 4dB 電令作第一七二號ニ依ル驅逐艦ヲ 清波ニ指定ス	4dB 電令作第一七二號 2Sd 司令官ハ麾下驅逐艦一隻ヲ派遣シ明 辛酉日〇七〇。北水道ヲ經テトラック着 豫定、靖國丸ヲ礁外一二〇哩附近ヨリ 護衛ニ任ゼシムベシ

舞鎮參謀長 艦本總務部長 大海參二部長	其ノ他ノ各ドラム等良態故障修理内 補機ハ全部使用可能 ニ右ノ状況ナルニ付整備ニ関シ豫メ準備 方手配相成度	黒潮驅艦長 三十日。一一。	黒潮親潮行動予定 三十日。一。内海西部發 四月一日一二。横須賀着
GF司令長官 三十日	GF 三十日 各參謀長 28司令官 15dg司令	GF信令第四二七號 一トラクニ於ケル警戒ヲ左ノ通改ム （主隊 AdB KdB。四三。ヨリ。五三。迄） 聯合艦隊警戒規程ニ依ル第ニ配備	信

目次

右以外第三配備
 但シ哨艇監視哨及出港準備並ニ
 對潜對空警戒機哨戒配備ニ関シテハ
 從前通
 (四)右以外ノ部隊艦船各指揮官所定
 二五信令第四一三號ヲ發止ス
 號

(終)